



第1回 CSSでのデザインやレイアウトをはじめる前に

この数年でHTMLを使ったWeb制作は、長く続いたテーブルレイアウトの手法からHTML本来のあり方を正しく利用する手法に変わってきました。HTML中にはHTMLタグを使って、文書の持つ情報構造や情報の意味、重要度を明示し、装飾に関する指定はCSSを使って指示します。今連載では一度はCSSを使ったデザインにチャレンジしたものの理解できなかった方、今一度基本からやり直したい方を対象にCSSデザインについて解説していきます。
(解説:こもりまさあき)

CSSデザイン、その前に

「一度はCSSにチャレンジしたんだけどなあ……、全然テーブルレイアウトと違って直感的じゃないしわからないよ」と、投げ出してしまった方は実のところ多いものです。オーサリングソフトを使ってWebページを作ろうにも、そこに表示される見た目とブラウザでの見た目が違っていたり、ブラウザによってはレイアウトがガタガタと音を出して崩れてしまったかのような状態になってしまうこともあったでしょう。

CSSを使ったWebページのレイアウトやデザインは、従来のテーブルレイアウトとはまるで考え方が異なります。実のところ、オーサリングソフトを使って「Webページの見た目を整えるという考え」からは脱却した方が、話が早いと言えるでしょう。

実際CSSを使ってうまく作業を進めるために必要なものは、HTMLタグを正しく使って情報構造が明確になったHTML文書なのです。「HTMLなんかどうでもいいよ」と考えている方は今すぐ考え方を改めてください。

それができなければCSSはマスターすることもできませんし、検索エンジンにも不親切、多様化するデバイスにも不親切なアクセシビリティの非常に低いWebサイトしか作ることができないのです。

HTMLを正しく記述することがCSSマスターへの近道

テーブルタグを使った従来のデザイン・レイアウト手法では、セルを使ってレイアウトフレームを作成し、その中に実際のコンテンツを記述、もしくはイメージ要素などを配置していたことでしょう。多くの情報やコンテンツが含まれるのに、HTMLタグはや
、だけということはありません。本来HTMLでWebページを作成するということは、HTMLタグを使い文書の情報構造を明確にしたり、その内容が何を意味するものかを明示することなのです。

CSSはこのようなHTMLタグに対しても直接装飾指示を与えることが可能です。そのような仕様があるため、CSSを使ってデザインやレイアウトをスムーズに行うためには、なおさらHTMLタグで内容が的確にマークアップされていることが大事なのです。

制作スタイルによっては、オーサリングソフトを使って見た目を整えながらHTMLとCSSを同時に記述するという方法も考えられます。しかし、その方法は「情報をうまく伝えるためのHTML文書を作成する」という意識がないと、できあがったWebページは情報構造がめちゃくちゃなものになってしまう可能性があります。

オーサリングソフトの使用の有無はともかく、CSSを最速でマスターするにはHTMLタグを正しく使って文書構造を明確にし、装飾指示を取り除いた状態のHTML文書をきちんと作れるようになることが先決です。

ここは騙されたと思って今一度HTMLの復習から始めてみてはいかがでしょうか。

Point !

- (1) オーサリングソフトを使って「Webページの見た目を整えるという考え」から脱却しよう。
- (2) 文書の情報構造が的確にマークアップされていなければ、本来のHTMLの意味がないだけでなくCSSデザインが困難を極める。